

ウイング

男女共同参画情報誌 2015.3 NO.3

(Gender - equality society)

男女共同参画社会って何だろう？

市では、『男女がさまざまな分野に対等なパートナーとして参画し、自らの個性と能力を十分に発揮しながら、多様な生活を認め合い、生き生きと充実した生活を送ることができる社会』と定義しています。

価値観やライフスタイルの多様化など社会情勢が大きく変化するなかでは、今後ますますあらゆる分野において男女共同参画の視点をもつことが必要となってきます。

市では、今後も男女共同参画社会の実現に向けて、様々な施策に取り組んでいきます。

—記事内容—

- キラキラ人探究！
・・・ 小松崎 玲奈さん（新日鐵住金株式会社鹿島製鐵所）
- ワーク・ライフ・バランス実現に向けて
・・・ 「仕事」と「子育て」
・・・ 「仕事」と「介護」
- 「鹿嶋市男女共同参画フォーラム 2014」開催報告
- 男女共同参画についてのアンケート調査結果
- 相談窓口案内

編集・発行
平成 27 年 3 月 1 日
鹿嶋市男女共同参画推進委員会
鹿嶋市市民協働部まちづくり推進課
〒314-8655 鹿嶋市平井 1187-1
Tel:0299-82-2911 Fax:0299-82-2915

E-mail:machidukuri1@city.ibaraki-kashima.lg.jp
誌名「ウイング」は、誰もが夢を持ち未来へ
羽ばたける社会へという思いが込められています。



鹿嶋市男女共同参画推進
シンボルマーク

鹿嶋市男女共同参画推進標語『あなたとわたし キミとボク 共に生き生き 参画社会』

キラキラ人 探究!

みつけ

「キラキラ人探究!」では、男女共同参画を
実践され、イキイキとキラめいている皆さんの
秘訣を紹介します。

今回は、新日鐵住金株式会社鹿島製鐵所の製造現場で活躍している小松崎玲奈さん^{れいな}にお話を伺いました。

◆ 小松崎 玲奈さん(新日鐵住金株式会社鹿島製鐵所 薄板部熱延工場加熱炉職場)



福島県いわき市出身の小松崎さんは、工業高校の土木科を卒業後、先生の勧めがきっかけで、持ち前のチャレンジ精神と御両親の後押しもあり、当時の住友金属工業(株)鹿島製鐵所の製造現場へ飛び込みました。

配属先の熱延工場では、真っ赤なスラブ(※)を圧延しやすいよう加熱炉で加熱し、板状に引き延ばした薄板を作っています。小松崎さんは3交替勤務で、加熱炉の温度管理を行っており、緻密な温度管理によって強く加工しやすい鋼を作っています。炉内では、ガスを燃焼させてスラブを加熱させるため、加熱炉の周辺は200℃を超える場所もあり、その加熱炉の設備メン

テナンスも担当しています。

また、ガスは大変危険なので、専門知識を習得した上で、ガス検知器の装置も必要とのこと。仕事について小松崎さんは、「車のボディなど、つくった製品を街で見かけたとき、とてもうれしくやりがいを感じます。メンテナンス作業は大変ですが、このおかげで機械がスムーズに動くので、1つ1つしっかりと行っています。」と自信を持ってお答えくださいました。

同席いただいた薄板部人事統括の石川さんは、「小松崎さんは、難関のボイラー資格を見事1回で合格し、現場の即戦力となっています。男女差のない仕事をきちんとこなしていることはもちろん、いつも元気で職場の雰囲気をも明るくしてくれる貴重な存在です。」と話してくれました。

そんな小松崎さんの家庭についてお伺いしたところ、「家事は基本的には私がしますが、主人も交替勤務なので、掃除や洗濯などは、お互い協力しながら、できる時にできる人がしています。主人と休みが合うのは月1回ほどですが、一緒にゴルフの練習をするのが楽しみです♪」と満面の笑みで話してくれました。

また、別の一面として、住友金属工業(株)時代から野球部の応援団を10年続けているとのこと。野球シーズンで練習がある時などは、職場の仲間が協力して仕事をカバーしてくれるそうです。

最後に、製造現場を目指す後輩に向けたメッセージをお聞きしました。「現場作業は、3K(きつい・汚い・危険)と言われていましたが、今はそのようなことはないです。実際に働いてみるとおもしろいと思うかもしれないので、興味を持ったらいメージにとらわれず、どんどんチャレンジしてほしいと思います。」仕事に興味に応援団にと多方面で活躍され、キラキラ輝いている小松崎さん、今後も更なる御活躍を期待しております。(推薦者:石田晃康委員)



▲小松崎さんと石川さん

※スラブ・・・半製品の鋼片。銑鉄から不純物を取り除いてできた鋼を鑄込んだもの。

《人事担当からひとこと》

平成15年より製造現場にも女性を採用しています。仕事への取り組み姿勢はとてもまじめで、特に衛生面や安全面に細やかに気がつき、女性ならではの配慮をいただいています。

また、女性が働きやすいよう業務内容の見直し・改善を行った結果、職場全体の業務効率化にもつながりました。今後とも、男女ともに働きやすい職場を目指し、取り組んでまいります。



▲野球部応援団で活躍する小松崎さん(左上)

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）実現に向け、仕事と子育て・介護の両立支援についてご紹介します。

《仕事と子育て》

雇用環境は平成9年以降、共働き世帯数が、男性雇用者の夫と無職の妻世帯数を上回り、現在も増加し続けています。市では、希望するすべての人が子育てをしながら安心して働くことができる環境づくりとしてさまざまな制度を設けています。ライフスタイルに合わせ上手に活用しましょう。

◆子育て支援事業◆

対象年齢	0歳～5歳	3歳～5歳	小学1～3年	乳児～小学生
子育てに関する制度	・保育園 ・認定こども園	・幼稚園 ・認定こども園	・児童クラブ※ ・放課後子ども教室	ファミリー・サポート・センター

※…定員に余裕があれば小学4年生以上も入会可。

◎上記子育てに関する制度のお知らせや、イベントや遊び場の情報を発信する子育て応援サイト「ママフレ」も開設しています。

・「ママフレ」<http://kashima-city.mamafre.jp/>

◎子ども・子育て支援新制度が始まります！

幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て新制度」が平成27年4月から始まります。詳細は内閣府ホームページをご覧ください。

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/>

新日鐵住金(株)鹿島製鐵所では男性の取得実績もあります！

～パパの育児休業を応援！～

育児休業は、原則子が1歳になる誕生日の前日まで取得することができます。妻が専業主婦や、産休、育休中であっても取得できます。

また、雇用保険被保険者で、一定の要件を満たせば、育児休業給付が休業開始前賃金の67%支給されます。詳細は茨城労働局雇用均等室まで（tel：029-224-6288）

《仕事と介護》

今日、親や家族などの介護を理由に、離転職する方は年間10万人に達しています。介護は突然生じることが多く、また、介護に直面する労働者は、企業において中核的な人材として活躍している場合も少なくありません。将来の介護生活を考え、職場や地域の中にも様々な制度・サービスがあることを知った上で、仕事と介護の両立を目指しましょう。

◆介護保険・介護サービスの種類◆

	介護保険	自治体独自	NPO・ボランティア提供	民間事業者提供
利用条件	要支援や要介護の認定	自治体により異なる	特になし	特になし
サービスの種類	全国統一	自治体独自の判断	団体により異なる	事業者により異なる
費用負担	介護認定の利用限度基準額内であれば1割負担	無料や低価格、また現物支給などさまざま	全額自己負担だが、比較的low価格	全額自己負担
情報入手先	親の暮らす自治体の担当窓口、地域包括支援センターなど	親の暮らす自治体の担当窓口、地域包括支援センターなど	地元の社会福祉協議会、地域包括支援センターなど	各事業者、口コミ、インターネットなど

「遠距離介護行動の3つの柱」（NPO 法人パオッコ）より出典、作成

内閣府では、これから介護が必要になるかもしれないという不安を抱えた方や、家族の介護をすることになった方のための、仕事と介護の両立に関する情報をまとめたポータルサイトを開設しています。ぜひ御活用ください。



・「仕事」と「介護」の両立ポータルサイト <http://www.cao.go.jp/wlb/ryouritsu/index.html>

◆「鹿嶋市男女共同参画フォーラム2014」開催報告

平成26年6月21日(土)、鹿嶋市まちづくり市民センターにおいて開催しました。今回は、声優から講師へ転身という、自らの可能性を広げ活躍されている女性講師「一龍斎春水」(いちりゅうさいはるみ)さんをお迎えしました。前段は、声優から講師への道のり、仕事と母の自宅介護を両立している経験談をお話され、講談では「金子みすゞの生涯」を詩を織り交ぜながら、臨場感あられる話芸で語っていただきました。



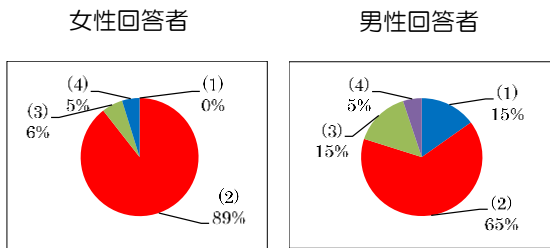
◆男女共同参画についてのアンケート調査結果(抜粋)

※詳細は、鹿嶋市ホームページにて掲載

上記フォーラム参加者を対象に、男女共同参画についてのアンケートを行い、男女別に集計しました。
【回答者】「鹿嶋市男女共同参画フォーラム2014」の参加者女性104人、男性20人

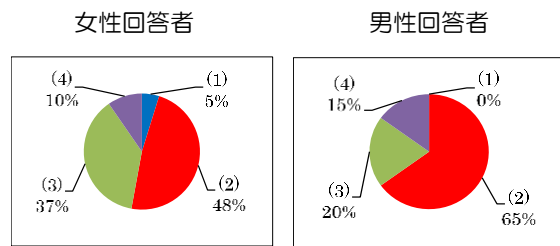
① お家では、お料理や家事全般は誰がしますか？

(1)男性 (2)女性 (3)特に決まりなし (4)未回答



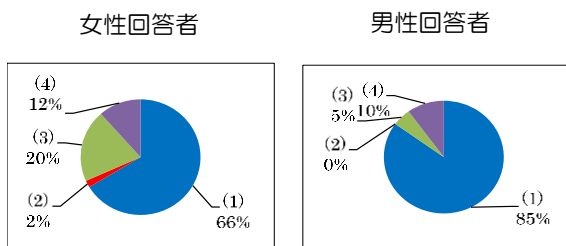
② 看護師のイメージはどちらですか。

(1)男性 (2)女性 (3)どちらでも (4)未回答

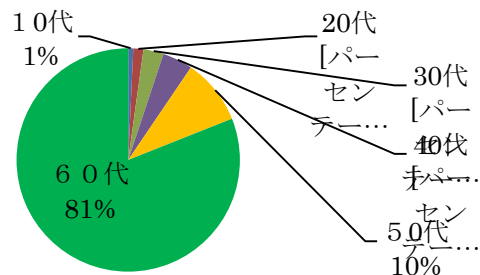


③ 現場作業員のイメージはどちらですか。

(1)男性 (2)女性 (3)どちらでも (4)未回答



【回答者年代】



【グラフについて】

- ① 男性が料理、家事に関わっている割合(1)・(3)を合わせると、男性回答者は30%でした。
- ② 看護師は、男女どちらでもというイメージが、男性回答者で20%、女性回答者で37%でした。
- ③ 現場作業員は、ほぼ男性のイメージですが、女性回答者の約20%が女性もイメージするようです。

性別のイメージにとらわれず、誰もが能力を発揮できる社会をみんなで築いていきましょう。

◆◆◆相談窓口のご案内◆◆◆

◆よりそいホットライン

0120-279-338 (24H)

【相談内容】生活、仕事、DV、人間関係等あらゆる悩みの相談。外国語対応。
通話による聞き取りが難しい方はFaxにて受付。(Fax: 03-3868-3811)

◆DV相談ナビ

0570-0-55210 (24H)

【相談内容】配偶者からの暴力被害に関する相談窓口の案内

◆女性プラザ男女共同参画支援室

029-233-3982 (平日9:00~17:00)

【相談内容】起業・再就職・地域活動などへのチャレンジに関する相談

◇編集後記◇

男性の職場と言われる製造現場の中で女性がイキイキと働くことで、男性にはない、女性だからこそできるきめ細やかな配慮や気遣いが、職場の業務効率化や、明るく、働きやすい職場作りにつながっているという現場の声を聞くことができました。
改めて男女がイキイキ働く職場作りが、よりよい社会づくりにもつながっていくのだと実感しています。
(0.J)